

ぜんこうもくひょう
全校目標 『GROW UP!』 ~みんなとそだてるココカラの木

ココカラウィークニュース

だい かい
第 1 回テーマ「じぶんも ともだちも たいせつだ！」です。 (期間：7月12日～16日)

3号に引き続き、本号では、ウィークを含む1学期の高等部の実践について報告します。高等部の取り組みから見えたのは、卒業を意識した「自分らしく生きる」と「他者との共生」という、まさに今回のウィークテーマについてでした。自他ともに大切にすることとはどういうことか？ 私たち大人も子どもたちと一緒に考え続ける必要のある大事なテーマだと感じました。



高等部

1年生

音楽・道徳・理系・社会情報・特別活動・保健体育・家庭・職業・昼休み・休み時間・自立活動（帰りの会）などで「人間関係」「LINEトラブル」「ネット・SNS」「友達との距離感」「人を傷つけない言葉について」「人体」「プライベートゾーン」「パーソナルスペース」「余暇活動について」「適切な言葉遣い」「マスクづくり」の学習などを実施しました。

高校生になり携帯電話やパソコンの使用率もグッと上がることから、情報ネットワークに関する性トラブルも他人事ではありません。そうした観点から、情報機器に関わるココカラ学習が増えました。こうした情報関係のトラブルは性的な問題でなくても時として他人を意図せず傷つけることになりかねません。そうしたことについて少しでも考えが及ぶように、こうした学習は必要不可欠です。また、「パーソナルスペース」についての学習では、小・中学部で行ってきた距離感の学習からさらに発展し、「その例外と心の動き」についても学習が進んでいます。心も身体も成長するほどに単純でなくなるように、人との関係や関わりについても複雑になってきます。こうしたモヤモヤや疑問、人を思う気持ちなどについて語りあえるココカラ学習は貴重な時間です。

2年生

音楽・美術・理系・道徳・自立活動・職業・家庭・文系・社会情報などで、「自分の体」「良いタッチ・悪いタッチ」「男らしさと女らしさ」「パーソナルスペース」「ディスカッション」「良いところ探し」「ルールとマナー」「ソーシャルディスタンス」「家事・家族について」「デートDV・セクハラ」「自己表現」「手紙で感謝を伝える」「生き物の命の重さ」「友だちとの思いで」「仲間」「トイレマーク」「少年法」「性犯罪」「赤ちゃんてね（書籍）」「トランプゲーム」「共同制作」「栽培」の学習などを実施しました。

さらに学習の幅が広がり、その取り組み方も自分で考え、さらには自分の感想や意見を述べるという主体的学習活動が増えています。こうした学習は人それぞれ感じ方も考え方も違うということを概念だけでなく、実際の経験として知る良い機会です。また、トランプゲーム1つとってもババ抜きのルールを工夫し、自分の欲しいカードを持っていそうな相手に伝えるという学習もありました。また、手紙を書くという学習もあり、いずれも自分の気持ちや要求を相手が理解し、受け入れてくれるよう言語化して伝える技術と、自分の期待と違う結果になった場合にどのようにするかということでも大切な学習です。また、少年法から考える性犯罪という学習も、自分たちが法治国家に生き、法を順守すると同時に、法に守られているということについて知れる大事な学習です。

3年生

理系・保健体育・給食時間・休み時間・職業・家庭・理系・美術・社会情報・自立活動（朝の会）・音楽・自立活動・HR・道徳などで、「タブーとは」「人の気持ち」「性の決定」「異なった角度からものを見る」「権利と義務」「進化」「一番大切なこと」「相手のことを考える」「熱中症」「One For All」「応急手当」「人間の一生」「筋力について」「プライベートゾーン」「人権とは」「心身相関」「パワーハラスメント」「体調管理」「ルール」「職場と人間関係」「性犯罪」「生命の尊さ」「生き物の成長」「リラックス」「自分の取扱説明書」「清潔学習」「生き物の飼育」「協力」「適切な言葉遣い」「距離感」「知らない人との関わりについて」「好き嫌い」などについて実施しました。

卒業を控えた学年ということもあり、社会に出て一人で対応することが増えていくことを想定した、「自分はこうである」というものの見方や考え方についての学習や、健康管理などの自分を律するという学習も増え、その上での他者との付き合い方や命の大切さ、協調する意義などココカラ学習で学んできた知識の応用編という学習内容が多くみられました。



学校ホームページにカラー版あります！